造影ＣＴ検査の説明書・同意書

患者番号：

様

ＣＴ検査では、より正確な診断を行うために静脈内に造影剤を投与する造影検査を行う場合があります。当院で使用するＣＴ造影剤はヨードを用いたもので、血管や臓器の様子や、病変の性質をわかりやすくすることができます。検査の際に血管(静脈)から注射し、造影剤(通常80～100cc)を急速投与します。胆嚢や胆道の観察のために行なわれるＤＩＣ－ＣＴ(点滴静注胆道造影ＣＴ検査)では、造影剤をゆっくりと点滴し、点滴が終わってから撮像します。
*腎機能障害、ヨード造影剤への副作用歴、重篤な甲状腺疾患がある場合には、造影検査を行えません。また、特定の糖尿病薬（ビグアナイド系血糖降下剤）を服用されている場合は、前後2日間、検査当日をあわせ5日間の休薬期間が必要となります。

■造影剤は安全な薬剤ですが、時に合併症・副作用を起こす可能性があります。
直後の合併症としては、造影剤の静脈外皮下への漏出、抜針後の小出血などがあります。

■副作用の種類には次のようなものがあります。
①軽い副作用　：　発疹、咽頭・喉頭違和感、くしゃみ、咳、悪心、嘔吐、関節痛
②重篤な副作用　：　呼吸困難、意識消失、血圧低下、ショック（2.5万人に1人）
③ごくまれに死亡例も報告があります（40万人に1人）

以前に造影検査を受け、副作用の無かった方でも副作用が起こる可能性があります。当院では、万一の副作用に対し、万全の体制を整えて検査を行っています。 もしも、副作用が発生した場合は迅速かつ適切な処置を行います。安心して検査をお受けください。

なお、ＣＴ検査時に放射線科医、その他の医師、放射線技師、看護師の判断で、検査される患者様の利益のために、造影予定であっても造影検査を行わないことがありますのでご了承ください。

以上、　　様の造影ＣＴ検査について、その利点と造影剤投与により起こり得る合併症・副作用について説明しました。

説明日：

南海医療センター　　説明医師（署名）：

南海医療センター　院長　殿

上記医師からの説明を受け、造影ＣＴ検査の利点と起こり得る合併症・副作用について理解した上でＣＴ検査時の造影剤投与に同意いたします。

患者様署名　：

代理人署名　：
（ 続柄：　　）

注）患者様本人が署名できない場合は、代理人の方が「代理人署名」欄に記載をお願いします。